

### 片山元知事講演会 &生活支援サポ ーター制度



津山誠心会議  
野村昌平

#### 地方創生

**問** 先日、美作学園創立100周年記念講演会で、片山元鳥取県知事・元総務大臣の地域再生・地方創生に関する話を聞いて、市長はどう受け止められたか。

本市が策定した成長戦略4つのエンジン、農林業・ものづくり・観光・再生可能エネルギーの施策の方向性と合致しており、私も大いに励みになった。

#### 暮らし

**問** 生活支援サポーター(200人予定)制度の概要は。

**答** 養成講座を受け、登録した元気な高齢者が必要な家事援助をする。利用料は1時間500円以内。

**答** 自治体が自立するためには、地産地消の徹底が地域の雇用創出につながることで、また、エネルギーなどを地域の中から生み出すことで、地域の利益が外に流出することを防ぐ取り組みが重要であるという考えに共感した。

片山氏の  
お考えは、



養成講座が開催された「ふれあいサロン」(アリコベールしんざ2階)

### 国の経済対策、津山市では何に？

#### 経済対策

**問** 国の「3本の矢」経済対策は津山ではどうか。

**答** 平成24〜26年度65億2千万円で、学校耐震工事、津山駅北口整備、下水道等の事業や消費喚起を実施した。経済波及効果等は3月末までに整理したい。

#### 景観条例

**問** 景観条例に先立ち提案された景観計画(案)の説明会の様子はどうか。

**答** 説明会は8月に6回実施した。住宅への補助制度や既存の建物について質問があり、「届出対象は建物等の現状を変更する場合」と説明した。



市民と歩む会  
黒見節子

#### 暮らし

**問** 加茂の青柳にある射撃場の今後の使用はどうか。

**答** スポーツとしては、体育協会加茂支部クレ1射撃部が昨年度、延べ356人使用している。鳥獣被害対策実施隊の訓練場所にもなっており、引き続き使用できれば利点は大きいと考える。



津山西中学校校舎耐震改修工事の様子

### 「食品ロス」を減らし、フードバンク事業への理解を

#### 暮らし

**問** 津山市における食品廃棄の現状と食べ残しを減らす市民啓発は。

**答** 市が処理をしている一般廃棄物の昨年度組成分析で生ごみなどは全体の21%で約5,500トンと推計される。内容は家庭や飲食店などの調理屑や食べ残しが大半。10月に全戸配布したガイドブックなどで啓発を行っている。

**問** 食べ物を無駄にせず品質上問題のない食品を寄付してもらい福祉施設などへ無償提供する「フードバンク事業」の活動を津山ではNPO法人オレンジハートが取り組んでいる



公明党  
津山市議団  
広谷桂子

がどう考えるか。

**答** 公募提案型協働事業に採択され取り組みが進んでいる。社会福祉協議会などの連携も始まっており、こうした取り組みで行政等との連携が深まってくると考えている。



NPO法人 フードバンク岡山のリーフレット

#### 【その他の質問項目】

◆女性の活躍について